

2015年7月4日 日本ミャンマー協会主催歓迎レセプションでの
テインセイン大統領 答礼スピーチ要旨

- まず始めに、歓迎の言葉を述べて下さった日本ミャンマー協会の渡辺会長、日本財団の笹川会長、公明党の山口代表並びにご出席の皆様にご挨拶申し上げます。
- 今夕は、友人の皆様とこのように親しく歓談することができたことを大変嬉しく思います。
- 私と私の国の代表団の日本到着以来、私たちを暖かく歓迎し、もてなして下さった日本国政府、日本国民の皆様には深く感謝申し上げます。
- このように私どものために盛大な歓迎夕食会を開催していただき、感謝申し上げます。
- 私たちの国ミャンマーと日本は歴史的に長年に渡って交流を深めてきた国であります。
- 私たちの外交関係として、昨年は外交関係樹立60周年を迎えました。外交関係樹立60周年を祝う盛大な記念式典が日本で、そしてミャンマーで開催されました。
- ミャンマーと日本両国は歴史的に長年に渡って交流を深め、相互に大きく貢献してきました。
- 例を申し上げますと、第二次世界大戦時にミャンマーの戦場にいた日本軍の部隊ですが、その日本部隊の中に、戦死した者もいれば、生き残っていた者もいました。その生き残った者たちが日本に帰還できるようミャンマー国として大いに協力しました。
- 偶然なことであるとも言えると思います。昨日、第二次世界大戦時にミャンマーから生きて帰還した、92歳の日本人の方とお会いすることができました。私に会いに来てくださって、ミャンマー国に大変感謝していること、恩返しとして日本に来たミャンマーからの留学生たちに修学援助をしていることを話され、私は大変嬉しく思いました。
- 戦時、ミャンマーで戦死した日本兵たちの遺骨収集が今も続けられています。戦死した者たちの子孫たちが、自分たちの両親、叔父等の遺骨収集を一生懸命にしており、ミャンマー国としてもこの遺骨収集事業にできる限り協力しています。

- 終戦後、食糧不足に直面していた日本にミャンマーからお米を送ったことがありました。日本でのある会議で笹川会長がこのことについて発言されました。
- 振り返ってみますと、一昔前私たちミャンマー人は日本人に親しみを感じ、そして慈悲心を持って協力してきたように、今日は日本国がミャンマー国に協力をする番になった、と言えると思います。
- 1948年にミャンマーはイギリスの植民地支配下から独立を獲得しました。植民地支配下だった私たちに何が残されたのかと言いますと、昔の植民地体制は民族を分割して統治する政策だったため、各民族が互いに信用をなくし、武器を手にとって戦う内戦、武装衝突問題、このような負の遺産が残され、今日で60年以上が経ちました。
- この60年間の間私たちの国では様々な体制が採られてきました。政府としていろいろな形で守ってきました。
- 私たちは50年間以上にわたり民主主義体制からかけ離れていました。しかし、ミャンマー国で今の政権が誕生してから民主主義体制を採用し、軍隊が統治する体制から国民に選出された代表者たちによって構成された民主主義体制を採用する政権になりました。
- 私たちの政権が発足した当時は、内戦により、そして約20年間経済制裁を受けたこと等によりミャンマーの発展が遅れました。
- 私たちの国ミャンマーにはたくさんの天然資源があります。陸海において石油や天然ガスなどが埋蔵されています。森林に関しても国土面積の40%は森林で占めています。様々な鉱物もたくさん埋蔵されています。価値の高いルビー、翡翠など希少価値の高い宝石もたくさん採られています。米もたくさん生産できる国です。しかし、先程申し上げたように、アジアで、東南アジアの中でも発展の面において遅れました。
- 私たち政権が発足した後、5千万人以上のミャンマー国民共通の主な望みは、必要としていることは二つのことのみです。一つ目に、国の安定と平和、もう一つは社会経済の発展です。これらは国民が最も必要としていることであり、最も望んでいることです。
- 5千万人以上の国民の望みは、私たち政府として実現を目指して取り組むべき目標であります。今日、私たちの国の安定と平和のために60年以上にわたる武装衝突問題を終結させるべく、私たちの政権が発足して以来努力してきました。このような和平に向けての取り組みに日本国政府として深く、多大な協力をして下さっています。

- 先程申し上げたように、国民の望みである社会経済の発展に関して、私たちは20年間以上経済制裁を受けていたため、十分な資本を持っていません。人材を育成し始めている段階であります。私たちは技術に関しても遅れを取っています。
- 私たちが必要としていることをたくさんの国が補って、協力して下さっています。その中でも日本は先程私が申し述べたような資本、技術、人材育成の面において最も協力して下さっている国であるため、謝意を申し上げたいと思います。
- 私たちの国ミャンマーは地理的に南アジアと東南アジアの境域に位置しています。そして私たちの国には必要な労働力人口もたくさんいます。周辺には中国、インドといった人口の多い国々と国境が接しているため巨大市場を持っています。そのうえミャンマーは現在平和で安定している為、投資するのに最も良い国である、と申し上げたいと思います。
- そのため、本日ご出席された企業家の皆様に私たちの国ミャンマーに投資するよう、ミャンマー国のために、ミャンマー国民のために、そして自分たちのためにも利益になるような投資事業をミャンマーで行うこと、投資という形でミャンマー国に協力して下さるよう呼びかけたいと思います。
- 私たちの政権の任期はもうすぐで5年になります。来る11月上旬に選挙が実施される予定です。
- 私は2010年の総選挙に連邦団結発展党の党首として選挙で勝利し、大統領に任命されました。
- 大統領は憲法により大統領在任中に政党活動を行うことができません。憲法で禁止されています。
- そのため今日においては、国の安定平和と社会経済の発展を国民の義務として目標に掲げて取り組んでいます。
- 国民の義務を果たしながら国のこのような状況の下で、先程申し述べたような国民の望み、このような状況に応じて引き続き挑戦し、取り組んでいくことを申し述べて、私の挨拶とさせていただきます。
- 渡辺会長が聞きたかった答えを聞くことができたのではないかと、思います。

以上